

令和8年度 調布市立第四中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
・ 目指す生徒像を「澄み渡る心 さわやかな態度 熱い姿勢」とし、学校スローガンを「さわやかで熱い四中」とする。	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<p>現状 生徒：挨拶など基本的な生活習慣が身に付いており、学校生活は落ち着いている。隣接小学校出身者が大半を占め、小学校からの人間関係やパワーバランスが確立しており、新たなリーダーが育ちにくい。</p> <p>保護者：学校に対して理解があり協力的である。特に行事でのサポート体制がPTA 役員を中心に確立している。校舎改築工事により、体育や部活、昼休みの活動の場が制限されることを心配する声がある。</p> <p>地域：繁華街や商業施設が少なく、騒音や住民トラブル等もない。地域の健全育成団体等とは、あいさつ運動や各種地域行事への参加を通して連携・協力・信頼関係を築いている。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力の定着及び ICT を活用した指導力の向上を目指す。 ・ 特別支援教育の充実及び個に応じた指導の充実、不登校対応巡回教員や SSW との連携を推進する。 ・ 学校運営協議会及び地域学校協働本部を機能させ、地域と連携した学校づくりを目指す。 ・ 各種休暇が柔軟に取得でき、無理なく健康的に従事できる職場環境を構築する。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校生活において言葉の大切さを知ると共に、語彙を豊かにして、優れた人間性の向上を図る力。 ② 主体的・対話的で深い学びに対する姿勢を深める能力。 ③ 学校及び社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 評価の定まった文章の紹介をはじめ、読書を勧めると共に、理解したり表現したりするために必要な語句を増やし、慣用句・故事成語・四字熟語について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ② 話し合い活動の機会を単元の学習の中で増やしていく。また、スピーチに取り組みせ、言葉を通じた理解や表現及び言葉を大切にしたい思いを育む。 ③ 目的や意図に応じて、日常生活の中から情報や題材を集め、それを整理して伝えたいことを明確にし、自分の考えが伝わるように考えたり、話したり、文章に書いたりする力を育む。また、モバイル端末を活用し、授業の中で意見交換や議論の時間を増やし、自分の考えを広げ深められるよう指導する。
社会	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が主体的に学習に取り組み、対話等を通じ自らの思考を深める力。 ② 日本や世界の伝統・文化を学び、様々な立場の人たちとの共生社会を築いていくための力。 ③ メディアリテラシーや自他ともに人格も大切にしつつ、多面的・多角的に考案する力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 「学習内容」と「学習活動」を明確に指示し、協働的活動を通じ、生徒自らの考えを引き出す場面設定を増やす。 ② 日本や世界の伝統・文化の学習では身近な具体例を提示し、比較をしながら学び、多様な人たちが互いを尊重しあえる方策を探る機会を増やす。 ③ メディアリテラシーを意識し、モバイル端末を活用しながら、他者の多様な意見を参考にし、多面的・多角的に考える指導を推進する。
数学	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が数学を学ぶ意欲をもち、学ぶことの意義を理解する力。 ② 活用して考えたり、判断したりする力。 ③ 主体的・対話的で深い学びを通して、事象を数理的に考察し、表現する力を高め、主体的・対話的に深く学ぶ力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 発達や学年の段階に応じた反復により、理解の深まりや広がりなど学習の進歩を感じ、学習し身に付けたものが、日常生活で具体的に使われている例を授業で扱う。 ② 試行錯誤したり、資料を収集、整理、観察、操作、実験したりするような数学的活動でモバイル端末を取り入れ、思考力、判断力を高める。 ③ 数や図形の性質などを的確に表したり、根拠を明らかにして筋道立てて説明したり、自分の思いや考えを伝え合い、それらを共有して質的に高める場を授業に取り入れる。
理科	<ol style="list-style-type: none"> ① 自然の事物・現象に関心を持ち、主体的に調べ、学ぼうとする力。 ② 自然の事物・現象を科学的に探究し、自らの考えをまとめる力。 ③ 自らの考えを相手に伝える力と他者との関わりの中で自分の考えを再考させる力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 日常生活の事象について、多くの疑問をもつよう発問を工夫するとともに、学習内容と日常生活をできる限り関連させる。 ② 実験、観察を多く取り入れ、生徒の学習意欲を高めるとともに、結果について科学的に考える力を育成する。 ③ モバイル端末を活用し、授業の中で意見交換や議論の時間を増やし、自分の考えを広げ深められるよう指導する。

<p>音楽</p>	<p>① 主体的・協働的な活動を通して音楽の楽しさを体験し、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度。</p> <p>② 日本の伝統文化のよさを味わうとともに、諸外国の文化や音楽の多様性を理解し、それらを尊重する豊かな心。</p> <p>③ モバイル端末を活用して効果的な学習を主体的に進める力と表現の技能。</p>	<p>① 自分の思いを伝え合う活動や表現を高めるための学び合い活動を取り入れ、多様な考え方を知り、他者への寛容の心を育てながら音楽の楽しさを味わわせる。</p> <p>② 和楽器「箏」の演奏や、日本の伝統的な芸術、諸外国の音楽を鑑賞し、それぞれの文化の魅力味わわせる。</p> <p>③ 自分のペースで学習を主体的に進められるようモバイル端末を活用した活動ができる環境を整備し、なりたいたい自分や振り返りを入力・共有して、表現の技能をより高められるようにする。</p>
<p>美術</p>	<p>① 対象や事情を捉え造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫する技能。</p> <p>② 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出す豊かな発想や構想を練る能力。</p> <p>③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、心豊かな生活を想像していく態度。</p>	<p>① 材料や用具の特性を理解して、主体的に造形的な良さや美しさを感じ取り、いろいろな表現技法を体験する。作品制作を通して、対象にあった表現方法を身に付ける。</p> <p>② 自己の表現方法を追求して創造的な表現力を高めるために、他者の多様な意見や感想を参考にする。毎回の授業のねらいに対して、振り返りをしたチェック票から主体的な学習の態度をみとる。</p> <p>③ 鑑賞や他者の制作過程を通して、美術を愛好する心情を養う。また、協働学習を通して見方、感じ方を深めるために、モバイル端末を活用した対話型鑑賞授業を展開する。</p>
<p>保健体育</p>	<p>① 各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康、安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けられる力。</p> <p>② 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。</p> <p>③ 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度。</p>	<p>① 各種の運動に必要な基礎体力の強化を継続的に行うことと、それぞれの運動特有の動きを習得するための授業の工夫をする。</p> <p>② 個人あるいは集団種目の動きを振り返り、よりよい行動を引き出すためのチームミーティングやタブレット端末等のモバイル端末を活用する。</p> <p>③ 自己の課題を明確にすることを通して、授業以外の時間でも自主的に活動し、実践できるような学習方法の明確な指示をする。</p>
<p>技術・家庭</p>	<p>① 生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能。</p> <p>② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力。</p> <p>③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践する力。</p>	<p>① 知識・技能を定着させるうえでモバイル端末を積極的に活用して、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促していく。</p> <p>② 実生活での実践や、学校外で応用できるような教材を扱う。また様々な分野を通して実生活を豊かにできるような課題を設定する。</p> <p>③ 日本の伝統や文化の継承・発展についても学べるような実習を取り入れる。また、グループ活動を通して調べたものを互いに共有し深め合っていくような課題を設定する。</p>
<p>外国語 (英語)</p>	<p>① 外国語の表現、文法言語の働きなどを理解し、4技能・5領域による実際のコミュニケーションにおいて活用できる力。</p> <p>② 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合う力。</p> <p>③ 日本・異文化理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。</p>	<p>① 毎時間、4技能・5領域活動を取り入れるため、帯活動、文法指導、辞書指導、教科書音読、自己表現活動を展開する。</p> <p>② 主体的に学習するように、即興的な対話等、ペア活動やグループワークの活動などを通して、主体的・対話的で深い学びを取り入れる。</p> <p>③ 生徒の興味が深まるようにモバイル端末を活用し、実際の映像を多用する。また、ALTの授業で積極的なコミュニケーションを図る機会を設け、国際感覚を養う。</p>
<p>道徳科</p>	<p>① 人権尊重の精神を基調とし、自己を見つめ、自他の関係を深く考え、行動実践する力。</p> <p>② 1学年では、「より良い生き方を考える」、2学年では「主体的な判断をもとにより良い行動をする」、3学年では「他者と共によりよく生きる」力。</p>	<p>① モバイル端末や「人権教育プログラム」を活用し、生徒がより深く身近に教材を理解し、考えさせる工夫をする。また、自分の考えを深めるとともに、違う視点から考えさせる場を設定することで、他者への理解を深める。</p> <p>② 学期ごとの振り返りシートを使用し、自分の変容に気づかせ、評価につなげる。また、3年間を見通した計画に基づき、「生きる力」を育む。</p>